

コンピュータ・リテラシーTypeQuick 追試験について

2014年7月15日

担当：千葉^{しょうじゅ}庄^{さぎさか}寿・匂坂智子（外国語学部）

e-mail: schiba@reitaku-u.ac.jp, tsagisak@reitaku-u.ac.jp

7月28日(月)と8月1日(金)の17:30より18:00まで1301教室にてTypeQuickの追試験をおこないます。追試を指示された学生は受験してください。

追試験は、原則としてTypeQuick(以下TQ)の練習をしっかりおこない、合格にあと一步足りない人が対象となります。追試験の受験は、授業で実施する最後のTQテスト終了後、クラスの担当教員が該当する人の大学の電子メールアドレスあてに連絡して受験を指示します。合格していない学生はメールを確認のうえ、必ず受験してください。

TQに合格していない人で追試の指示がなかった人も受験できますが、その場合の最終的な合否の判断はクラスの担当教員がおこないます。

TQ試験をクリアできない場合、前期のコンピュータ・リテラシーの単位は取得できません。後期の再履修クラスを履修することになります。ただし、前期コンピュータ・リテラシーでTQ以外合格基準を満たした人は、後期の再履修クラスでTQテストのみを受験し、合格すれば前期の所定の成績で再履修クラスの単位を認定します(ただし、TQのみ不合格の人も再履修クラスへの履修登録は必要です)。

試験は以下の要領でおこないます。よく確認のうえ準備してください。

- ✓ 学生証を必ず持参すること(試験時に本人確認をおこないます)。
- ✓ 時間厳守で集合すること。試験時間は30分(印刷作業を含む)です。
- ✓ 特に担当教員から指示がなければ、英字コースのタイピングテストの任意のパートから2つ選んで受験すること。(指示がある場合は担当教員の指示通りに受験すること。)
- ✓ 試験結果は試験後教員が指示する方法で提出してもらい、各クラスの担当教員に送ります。それに基づいて各クラスの担当教員が最終的な合否判定をおこないます(監督教員がその場で合否判定するわけではありません)。
- ✓ **絶対に不正を行ってはいけません**。不正が判明した場合は厳正な措置をとります。

【重要】TQテストに合格できていない人も、期末試験は必ず受験すること。

以上